【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【公開番号】特開2007-288582(P2007-288582A)
【公開日】平成19年11月1日(2007.11.1)
【年通号数】公開・登録公報2007-042
【出願番号】特願2006-114455(P2006-114455)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｌ　9/08　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｌ　9/00　６０１Ａ
Ｇ０６Ｆ　3/12　Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成21年4月20日(2009.4.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
記録材に形成される情報を所定の暗号化コードに基づいて暗号化する暗号化装置において、
前記記録材の面にコヒーレント光を照射する照射手段と、
前記コヒーレント光が照射された記録材からの反射光によるスペックルパタンを撮影する撮影手段と、
当該撮影されたスペックルパタンに基づいて前記暗号化コードを作成する作成手段とを備えることを特徴とする暗号化装置。
【請求項２】
請求項１記載の暗号化装置を備え、暗号化された情報を記録材に形成することを特徴とする画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】暗号化装置及び画像形成装置
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、暗号化装置及び画像形成装置に関し、特に、文章等を暗号化する暗号化装置及び画像形成装置に関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明の目的は、第三者によって容易に解読し得ない暗号化文書を作成することができる暗号化装置及び画像形成装置を提供することにある。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
上記目的を達成するために、請求項１記載の暗号化装置は、記録材に形成される情報を所定の暗号化コードに基づいて暗号化する暗号化装置において、前記記録材の面にコヒーレント光を照射する照射手段と、前記コヒーレント光が照射された記録材からの反射光によるスペックルパタンを撮影する撮影手段と、当該撮影されたスペックルパタンに基づいて前記暗号化コードを作成する作成手段とを備えることを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
本発明によれば、コヒーレント光が照射された記録材からの反射光によるスペックルパタンを撮影して、当該撮影されたスペックルパタンに基づいて暗号化コードを作成する。これにより、記録材に形成された暗号化文書を解読するために、オリジナル文書からの暗号化コードの作成を必須として、オリジナル文書の複製物からは暗号化文書を解読するための暗号化コードを作成できなくすることができ、もって、第三者によるオリジナル文書の複製により容易に解読し得ない暗号化文書を作成することができる。